

平成26年度進行管理・評価シート
長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
（最終変更 平成26年3月31日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携 並びに推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 長野市景観計画との連携	2
2 長野市屋外広告物条例との連携	3
3 長野市伝統環境保存条例との連携	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 無形文化財支援事業	5
2 歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	6
3 善光寺周辺地域道路美装化事業	7
4 善光寺周辺地域電線類地中化事業	8
5 善光寺経蔵保存修理事業	9
6 中央通り歩行者優先道路化事業	10
7 善光寺表参道地域交流拠点整備事業	11
8 戸隠古道現状調査事業	12
9 まちづくり協議会活動助成事業	13
10 景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域)	14
11 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	15
12 善光寺本堂耐震補強事業	16
13 戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業	17
14 戸隠茅場整備事業	18
15 歴史的風致形成建造物修理助成事業	19
16 松代地域道路美装化事業	20
17 旧松代藩鐘楼広場整備事業	21
18 小鮎川改修事業	22
19 寺町商家(旧金箱家住宅)保存整備事業	23
20 伝統環境保存事業	24
21 旧文武学校保存整備事業	25
22 松代町文化財保存活用推進事業	26
23 史跡松代城跡保存整備調査研究事業	27
24 旧松代駅舎保存活用事業	28
25 松代城東側駐車場整備事業	29
26 北国街道松代道 周辺文化財等周遊道路整備事業	30
27 史跡大室古墳群保存整備事業	31
28 史跡大室古墳群 アクセス道路整備調査検討事業	32
29 旧信濃川田駅保存活用事業	33
30 松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業	34
31 松代歴史文化の発信・誘客事業	35
32 県宝大英寺本堂保存修理事業	36
33 川田宿PR活用事業	37
34 「彫工北村喜代松」製作の 屋台等保存・公開活用事業	38
35 鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業	39

36 松巖寺観音堂保存修理事業	40
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理 (活用)計画等)について	41
2 文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について	42
3 文化財の防災に関する取り組みについて	43
4 文化財の周辺環境の整備について	44
5 文化財に関する普及、啓発について	45
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「歴史的まちづくり 長野市の計画認定 国交省 など 県内4件目」 ほか(平成25年度)	46
2 「旧松代藩鐘楼広場」を開放 ほか(平成26年度)	48
⑥その他(様式1-6)		
1 「NAGANO検定」の実施	50
2 善光寺表参道ガイドの取り組み	51
3 「長野百景」選定事業	52
4 東町地区屋台修繕の取り組みと屋台蔵の整備	53
口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)		
平成25年度	54
平成26年度	55

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成25～26年度	
項目		現在の状況		
歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	①計画推進のため、計画策定時と同様にまちづくり推進課と文化財課が事務局となり、庁内及び国・県等関係機関との調整窓口として新たにまちづくり推進課内に「歴史的まちなみ整備室」を設置する。 ②歴史的風致の維持及び向上を目的とした庁内全体の連携体制を構築するために、関係各課の担当者によって構成される「歴史まちづくり推進会議」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。 ③歴史まちづくり法第11条に基づき、有識者等で構成される「長野市歴史的風致維持向上協議会」を、計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して、様々な提案・意見等を得ることとする。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
①都市整備部まちづくり推進課内に「歴史的まちなみ整備室」を新設し、計画推進体制を整備した。歴史的まちなみ整備室と文化財課による事務局会議を行い、計画推進に向けた情報共有や課題・問題点の検討などを通じて相互協力、連携が図られるようになった。 ②計画事業の関係部局を対象に「歴史まちづくり推進会議」を開催し、計画内容や事業推進について庁内の連携調整を図った。事業進捗状況を確認する中で、計画どおりに進捗していない事業に対する担当課へのフォローやコントロールが課題となっている。 ③「長野市歴史的風致維持向上協議会」を開催、計画事業の進捗、進行管理・評価シート、歴史的風致形成建造物の指定、計画変更案などについて協議し、計画内容、事業に対して幅広く意見をいただいた。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本計画の主旨、必要性について理解を深めてもらいながら、広く庁内の連携を取ることが必要である。			
状況を示す写真や資料等				
①平成25年4月 認定歴史的風致維持向上計画推進のための組織改正 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 計画策定時(平成24年度) 都市整備部 まちづくり推進課 街なみ景観担当 中心市街地活性化対策室 教育委員会 文化財課 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 組織改正(平成25年度から) 都市整備部 まちづくり推進課 景観広告担当 歴史的まちなみ整備室(新設) 中心市街地活性化対策室 教育委員会 文化財課 </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>※事務局会議の開催 平成25年度・・・6/25、7/26、8/27、9/25、10/23、11/8、12/24、1/27、2/13 (9回) 平成26年度・・・5/22、7/24、10/2、10/27、12/24、2/12 (6回)</p> </div>				
②歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催 議題: 計画内容の検討及び事業の進捗状況確認について 進行管理・評価と計画変更等について 開催状況 平成25年度・・・10/28 (第1回)、1/16 (第2回) 平成26年度・・・11/28 (第3回)、1/19 (第4回)				
				
		第1回(H25.10/28)	第3回(H26.11/28)	
③長野市歴史的風致維持向上協議会の開催 議題: 計画事業の状況、歴史的風致形成建造物の指定、計画の進行管理・評価及び計画変更等について 開催状況 平成25年度・・・11/21 (第4回)、2/18(第5回・現地視察) 2/25 (第6回) 平成26年度・・・8/8 (第7回)、2/26(第8回)				
				
		第4回(H25.11/21)	第5回(H26.2/18)	第6回(H26.2/25)
				
		第7回(H26.8/8)	第8回(H27.2/26)	

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

長野市景観計画との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

計画に記載している内容 <重点区域> ○善光寺周辺 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上のために、景観計画と連携しながら、景観計画上の重点地区に設定するなど、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観の誘導を検討していく。 ○戸隠 本計画において、戸隠五社や中社・宝光社の宿坊を中心とした独特の集落を含む一帯が重点区域に設定されたことから、今後は、この重点区域内を対象に、より詳細な景観の誘導を行うための検討を行っていく。 ○松代 重点区域内の特徴的なまちなみを活かすためにも、地域の特性に応じた景観形成基準の設定等を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・現時点では、上記項目について具体的検討に入っていない。
 ・平成19年に策定した「長野市景観計画」に基づき、対象となる規模の新築・増築・改築等について届出義務を課し、高さや彩色等について指導している。
 ・重点区域内の景観計画行為の届出件数
 H25 善光寺・戸隠地区 6件 松代・若穂川田地区 1件 計7件
 H26 善光寺・戸隠地区 6件 計6件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点区域の歴史的特性を活かした景観への誘導に向けて、長野市景観計画、長野市屋外広告物条例及び長野市歴史的風致維持向上計画とすり合わせを行い、方針や内容について協議検討を進めていく。
--	--

状況を示す写真や資料等

評価軸②-2 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
長野市屋外広告物条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<重点区域> ○善光寺周辺 長野市屋外広告物条例では、歴史的な景観を有する地区等で、よりきめ細やかな景観の規制誘導を図るために、特別地区制度を設けている。今後、重点区域内においては、景観計画と連携しながら、よりきめの細かい地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。 ○戸隠 広範囲にわたって上信越高原国立公園戸隠地域戸隠管理計画区に指定され、屋外広告物の掲出についても一定の規制が設けられているが、宝光社地区の一部には、国立公園による規制と屋外広告物条例による規制のどちらにもかかっていない部分があり、善光寺門前の規制とともに、よりきめの細かい規制地区の導入について検討していく。 ○松代 重点区域内については、善光寺周辺と同様に、景観計画と連携しながら、特別規制地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・現時点では、上記項目について具体的検討に入っていない。 ・平成18年改正施行の「長野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を設置する際に、設置地区の規制区分及び屋外広告物の表示面積に応じて届出義務を課し、指導している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		重点区域における特別地区制度の導入に向けて、長野市景観計画、長野市屋外広告物条例及び長野市歴史的風致維持向上計画とすり合わせを行い、方針や内容について協議検討を進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
Empty space for photos and materials			

評価軸②-3
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

長野市伝統環境保存条例との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

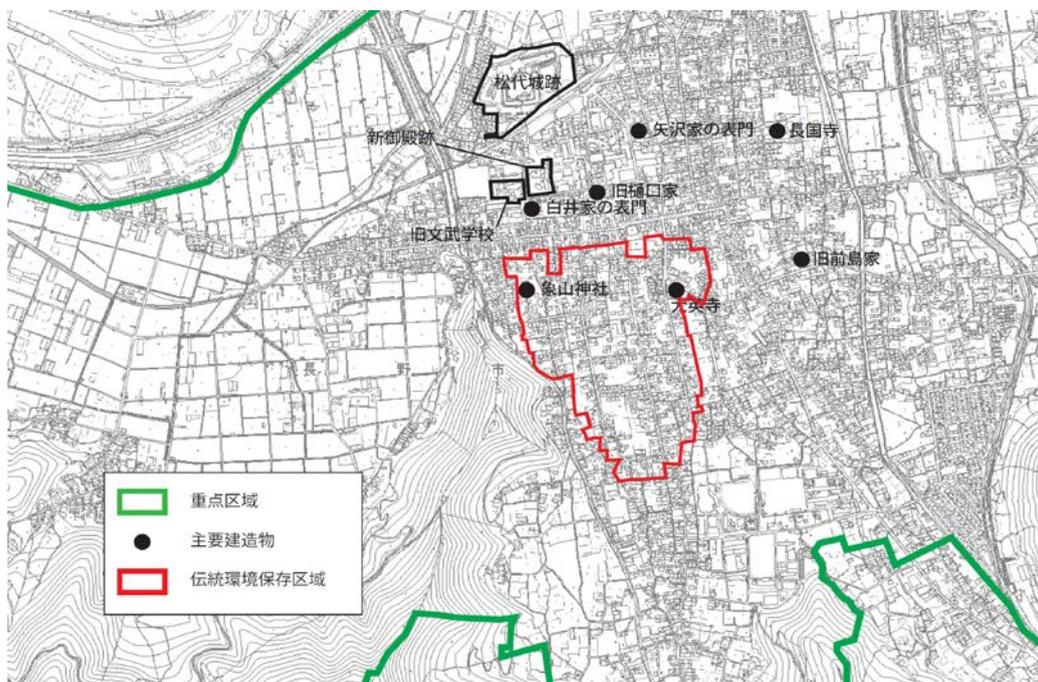
計画に記載している内容
 松代城下町の歴史かつ文化的な遺産としての伝統環境を保存し、次世代の市民に継承することを目的として、昭和58年(1983)3月に「長野市伝統環境保存条例」が制定されている。条例では、松代町四町(表柴町、代官町、馬場町、竹山町)を伝統環境保存地区として指定し、区域内の保存に関する保存計画を策定している。保存区域内で建築物(主屋、土蔵、門、塀など)、庭園その他の工作物の新築、増改築などを行う場合に、市へ届け出ることが必要であり、これにより、城下町の良好な景観形成を図っている。伝統環境保存地区の全域が本計画の重点区域内に含まれることから、引き続き条例に基づいて伝統環境の保存に努めていくとともに、都市計画や景観計画と連携しながら、周囲に広がる歴史的景観との調和についても検討し、さらなる歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 ・届出への審査指導や伝統環境の保全に寄与する建築物・工作物等保全へ補助することで、城下町の良好な景観形成と保全に繋がっている。(届出件数……平成25年度 13件/平成26年度 4件 補助制度……評価軸③-22参照)
 ・補助制度を活用して歴史的まちなみに寄与する建物等を保全維持している所有者は、地元団体の松代地区中心市街地活性化協議会の「街なみ景観賞」として表彰されるなど、まちなみ保存に対する地域住民の意識向上にも役立っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

伝統環境保存区域:約29ha



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
無形文化財支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定等を受けている伝統的な祭礼を保存・継承するためには、無形文化財の保持者または保持団体が、地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供する必要があるため、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費について、支援事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・重点区域内の無形文化財及び無形民俗文化財の保持者または保持団体・3者に対して活動経費の一部を助成し、伝承者の養成等を図った。 ・子どもへの継承活動や地区での発表会、イベント時の公開などを通じて保存継承とPRが図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>支援先の概要</p> <p>【平成25年度】 (善光寺・戸隠地区)</p> <p>① 宣澄(せんちょう)踊り保存会・・・戸隠神社宣澄社および宣澄生誕地での宣澄踊り奉納を実施した。</p> <p>(松代・若穂川田地区)</p> <p>② 箏曲(そうきょく)八橋流保存会・・・地元小学生を対象とする育成活動が行われ、保存継承を図ることが出来た。 ③ 大門踊(おおもんおどり)保存会・・・地元小学生を対象とする育成活動(年4回)、一般公開(年10回)を実施した。</p> <p>【平成26年度】 (善光寺・戸隠地区)</p> <p>① 宣澄(せんちょう)踊り保存会・・・戸隠神社宣澄社および宣澄生誕地での宣澄踊り奉納を実施した。</p> <p>(松代・若穂川田地区)</p> <p>② 箏曲(そうきょく)八橋流保存会・・・地元小学生を対象とする育成活動が行われ、保存継承を図ることが出来た。 ③ 大門踊(おおもんおどり)保存会・・・地元小学生を対象とする育成活動(年4回)、一般公開(年10回)を実施した。</p>			
 <p>松代小琴クラブの演奏</p>			
<p>②／八橋流箏曲保存会と松代小学校琴クラブ合同発表会 (長野市民新聞 平成26年10月21日 記事)</p>		<p>③／松代藩真田10万石祭りにおける公開披露の様子 (平成25年10月13日)</p>	

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
歴史的資源活用コーディネーター派遣事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的町並みを活かした良好な町並み形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

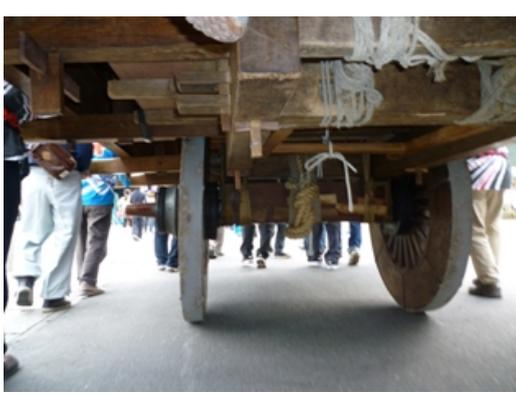
・鬼無里神社春祭り巡行屋台の現状について調査するため、祭り当日(H26.5.3)に専門家を派遣し、診断所見を得た。地元地区には毎年の屋台巡行による損傷状態や影響についての懸念があったが、「大きな損傷や影響は見られない」との所見が示されたことにより懸念が払拭され、次回以降も引き続き屋台巡行が行なわれる見通しである。
 ・善光寺周辺地区建物修景基準の作成にあたり専門家を派遣し、現地を確認しながら助言を得た。地区に合致した基準を作成し、地元住民の修景に対する理解を得られる見通しである。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

① H26.5.3の鬼無里神社春祭り屋台巡行時における調査の様子



② 善光寺周辺における調査の様子



評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
善光寺周辺地域道路美装化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成15年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、周囲の景観に調和した舗装整備を行う。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺道路の美装化工事を実施し、良好な景観形成が図られた。
 ○平成25年度
 道路美装化(石畳舗装)のデザインを決定した。
 ○平成26年度
 長野北576号線(仁王門通りL=105m)と長野北97号線(釈迦堂小路L=25m)の道路美装化(石畳舗装)を実施した。
 ※道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済み130m/計画延長432m(進捗率30%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



仁王門通り道路美装化の状況
整備前



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
善光寺周辺地域電線類地中化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、電線類を地中化し、道路からの眺望景観の向上を図る。
釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り

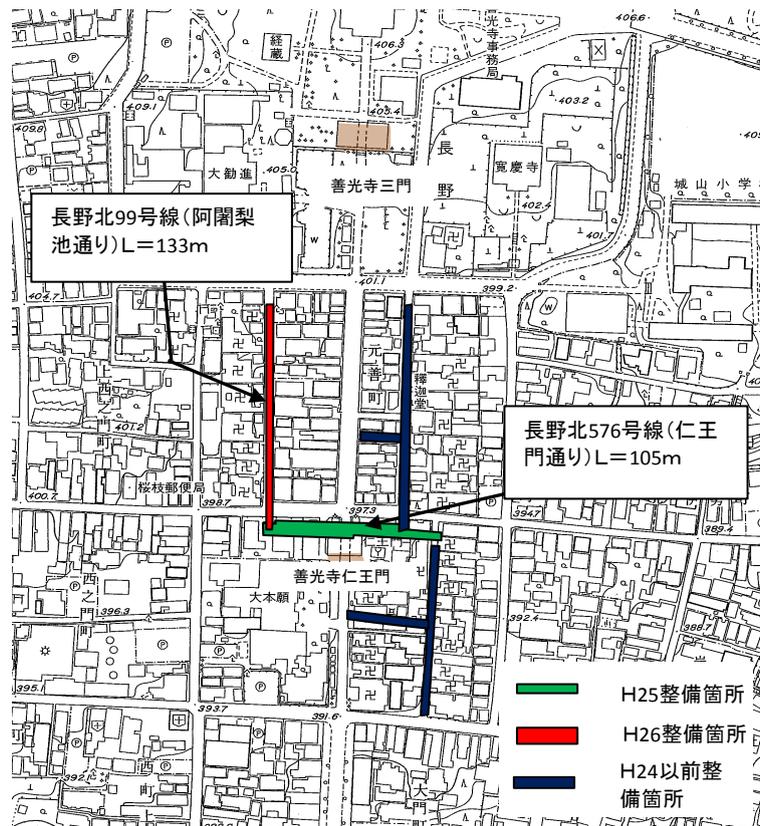
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺道路の電線類地中化工事を実施し、道路からの眺望景観の向上が図られた。
○平成25年度
長野北576号線(仁王門通りL=105m)の電線共同溝整備工事及び引込み設備工事を実施した。
○平成26年度
長野北99号線(阿闍梨池通りL=133m)の電線共同溝整備工事及び引込み設備工事を実施した。善光寺周辺の6つの路線の電柱を抜柱し、電線ケーブルを共同溝に入溝した。
※電線類地中化総延長(計画期間累計) 実施済み535m/計画延長540m(進捗率99%)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画路線沿いで、宅内引込管路施工方法の同意を得ることができなかったため、引込み設備工事ができず電柱抜柱未実施の箇所がある。今後、早急に施工方法を決定し電線類地中化完了に向けて取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

電線類地中化位置図



阿闍梨池通り電線共同溝整備の状況

整備前



整備の様子



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
善光寺経蔵保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
重要文化財善光寺経蔵は、宝暦9年(1759)の建立以降、屋根葺替及び部分修理以外の全面的な保存修理を実施していないため、屋根の劣化とともに建物基部の基壇や石敷の変形と不陸等が顕著な状況となっている。
耐震性能並びに耐震上の課題を把握した上で、全面的な構造補強及び保存修理工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成24・25年度
耐震診断・建物の軸部及び基壇など構造体の破損状況調査を実施、構造検討を進め、文化財建造物への影響を最小限とする構造補強方針を定めた。
○平成26年度
耐震診断成果に基づく構造補強及び屋根や部材等の保存修理工事の実施設計を行い、工事着手した。工事では揚屋工事・基礎工事・地盤補強工事を実施した。

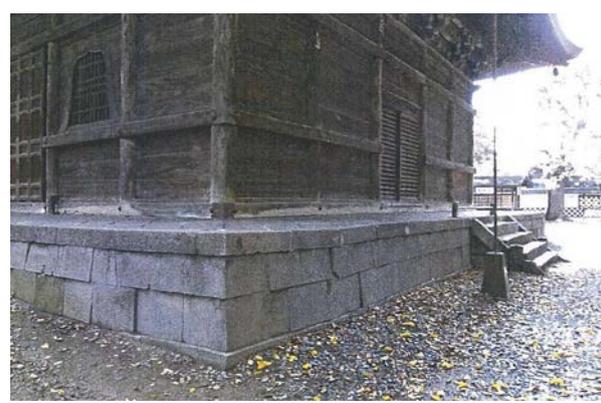
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



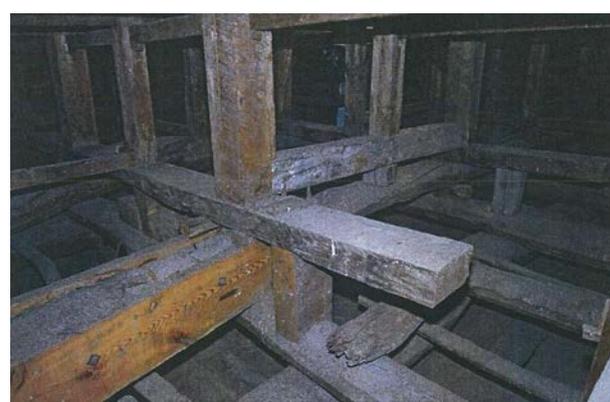
正面全景(東面)



基壇の破損状況(西面)



建物内部状況(北西より)



小屋組の破損状況

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
中央通り歩行者優先道路化事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 弥栄神社の御祭礼で屋台巡行のメイン通りとなる中央通り(善光寺表参道)について、屋台巡行における景観の質を向上させるとともに、通常時においても、周辺の歴史的建造物と一体となった沿道空間を確保するため、善光寺の参道の雰囲気にならせた石畳舗装を行い、さらに歩道の拡幅を行うことで道路空間の魅力向上と機能充実を図る。

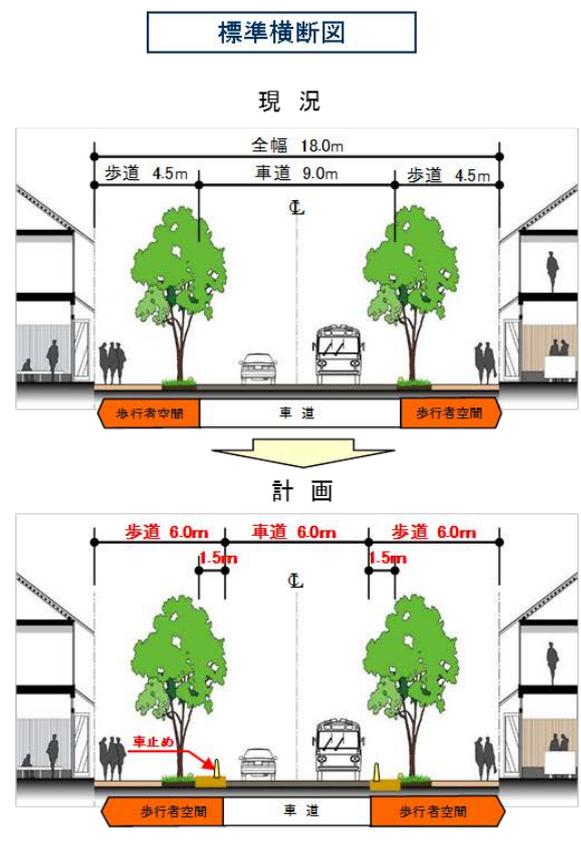
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業区間L=700mのうち、セントラルスクエア以北のL=380mを計画に位置づけて石畳舗装工等を実施した。
 ○平成25年度
 L=130m(平成24年度繰越分)施工完了、北野文芸座以北のL=250mについて工事契約及び着手した。
 ○平成26年度
 L=270m(平成25年度繰越分と一部未整備箇所)及び大門交差点スクランブル化の施工完了により事業完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
善光寺表参道地域交流拠点整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
善光寺表参道に面し、弥栄神社の御祭礼屋台巡行のルートでもあるため、地元住民や来訪者のための地域交流拠点として、緑豊かな公園や表参道の歴史を伝える施設等を整備する。また、観光客用駐車場不足の状況を踏まえ、観光バスの駐車できる駐車場の設置についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県庁緑町線沿線地区計画調査業務において、調査対象区域約3.5ha(セントラルスクエア含む)の面的整備に係る計画調査を実施した。整備方針について現在検討を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 事業予定地のセントラルスクエアは現在民有地であるため、用地取得に向けて地権者との交渉を進めていく必要がある。計画調査区域内の権利者と合意形成を図りながらセントラルスクエアを含めた面整備計画を策定し、事業化を目指す。

状況を示す写真や資料等

セントラルスクエアの現況



県庁緑町線沿線地区計画調査(A=約3.5ha)位置図



評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
戸隠古道現状調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 善光寺と戸隠を結ぶ信仰の道である戸隠古道について、その歴史や文化の普及・啓発を図り、より歩きやすい道として整備するため、戸隠古道の現況調査を行う。調査結果を踏まえて、部分的な歩道整備や歩行者案内板等の設置を行っていく。

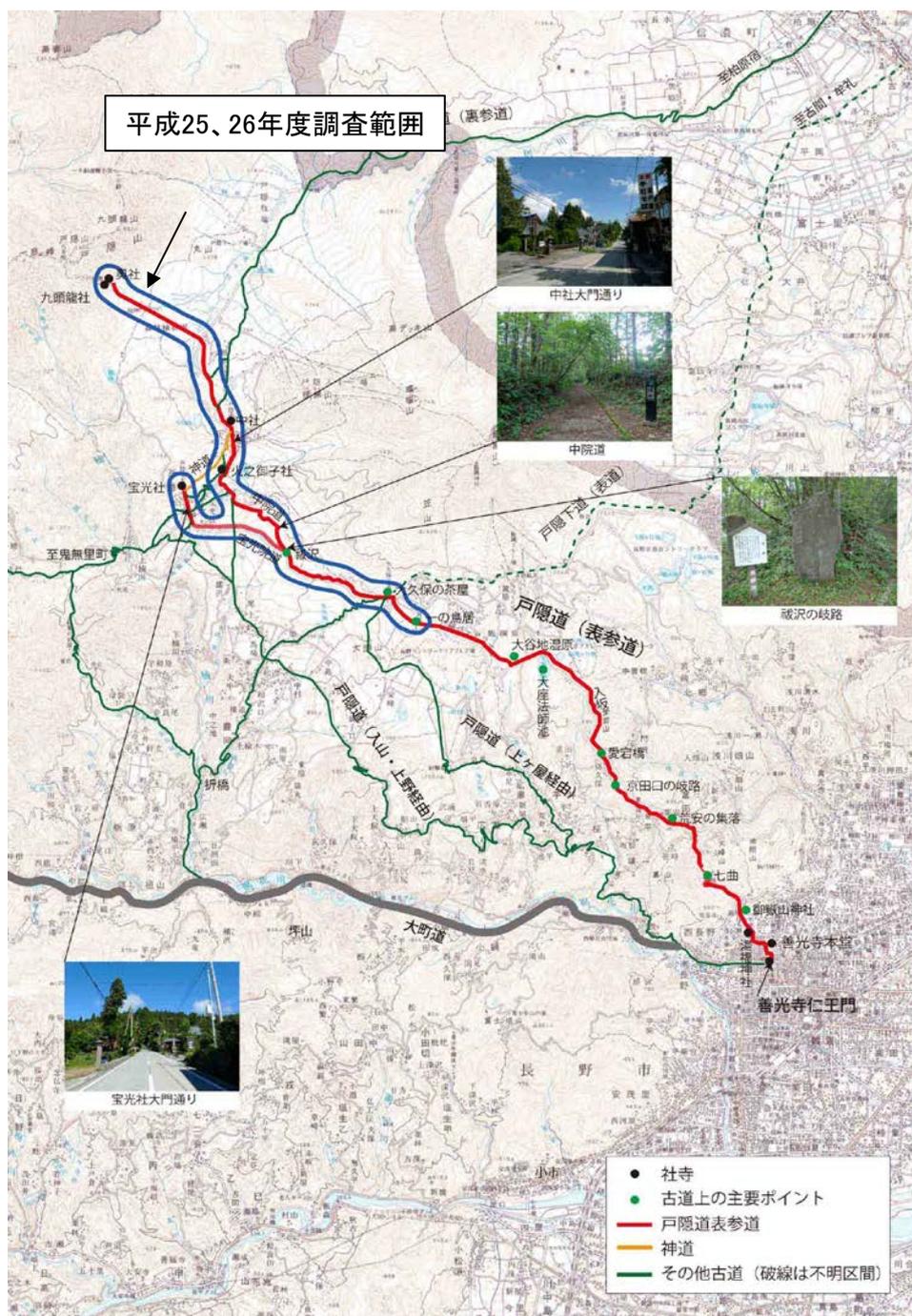
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成25年度
戸隠観光協会の協力により、戸隠古道のうち、一の鳥居から戸隠神社奥社までの主要部分の現状調査を実施した。
○平成26年度
戸隠古道のうち、一の鳥居から戸隠神社奥社までにある石標、丁石、案内板の位置、種類等の調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
○計画どおり進捗していない
管理者不明の破損した案内板が多く存在し、これらの修理又は撤去が困難な状況。このため、環境省、長野県及び戸隠観光協会等と連携し、案内板管理者の調査を行う。

状況を示す写真や資料等



石標



丁石



案内板

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
まちづくり協議会活動助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成27年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	地域の歴史や文化を活かした良好なまちなみ形成を行うために組織された協議会に対して、活動助成を行う。 団体名：戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会に対し活動費の助成を実施。これにより、先進地視察や勉強会、ワークショップ、シンポジウム等の協議会活動が活発に行われ、地区住民における良好なまちなみ形成に関する理解が深まった。 ・平成26年度には広報を2回発行・配布し、まちづくり協議会の活動に対する地区住民の関心が高まった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会の主な活動	
■平成25年度	5月 まちづくり協議会総会、まちづくり勉強会 6月 先進地視察(福島県下郷町、南会津町) 9月 まち歩き勉強会 11月 中社ゲレンデ茅刈り 12月 まちづくり勉強会 3月 まちづくりシンポジウム
■平成26年度	5月 まちづくり協議会総会、まちづくり勉強会 6月 先進地視察(京都府南丹市、滋賀県大津市) 9月 まちづくりワークショップ 10月 まちづくりワークショップ 11月 中社ゲレンデ茅刈り 2月 まちづくりシンポジウム



広報まちづくり 第1号



まちづくり勉強会(H25.5.27:参加者29名)



まちづくりワークショップ(H26.9.7:参加者35名)



先進地視察(H25.6.10・11:参加者18名)



中社ゲレンデ茅刈り(H26.11.5・6:参加者43名)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観重要建造物に指定された宿坊極意(中社)と越志旅館(宝光社)について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に要する経費の一部について助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成25年度
戸隠神社中社門前の宿坊極意及び戸隠神社宝光社門前の越志旅館の修理保存に向けて、現状変更申請し許可を得た。
○平成26年度
宿坊極意及び越志旅館の茅葺屋根の一部修理を行い、その経費の一部について助成を行った。また、同建物の平成27年度の修理保存に向けて、現状変更申請し許可を得た。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

宿坊極意(中社)



修理前



修理後

越志旅館(宝光社)



修理前



修理後

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弥栄神社の御祭礼で曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成24年度から祇園祭における屋台巡行の毎年実施が復活し、継続されている。
 ○平成25年度
 運行屋台4台・置き屋台1台、計5台の組立及び解体に対して補助金交付
 祭り屋台の修理、お囃子屋台の修繕、屋台の幌の更新の3件に対して補助金交付
 ○平成26年度
 運行屋台5台・置き屋台1台、計6台の組立及び解体に対して補助金交付
 ・平成26年度は、毎年の屋台運行が復活して3年目を迎え、祭りの定着と発展が図られてきている。祭りの伝統の継承と、若年層の参画による新たな感性と活力により、祭りが磨き上げられることが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



祭り屋台の組み立ての様子



宵山(前夜祭)での踊りの披露(置き屋台)



屋台の巡行と善光寺山門前での踊りの奉納(山門答礼)



評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
善光寺本堂耐震補強事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 平成22年度及び平成23年度に実施した国宝善光寺本堂の耐震診断では、本堂に対して行うべき耐震補強を、短期的視点からの耐震性能向上と、本堂の大規模な修繕工事にあわせて行う長期的視点からの耐震性能向上にわけて提案がなされた。本事業は、前者の短期耐震補強工事であり、参拝者に対する安全確保を目的に、天井吊補強工事をはじめとした天井部分の落下防止対策の補強工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度中の事業着手を目指して文化庁・県教育委員会等と協議を進めていたが、落下防止対策等の補強工事における既存木部への影響が懸念されることから、補強工事の詳細内容について継続協議となり、実施時期を延長することとなった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成27年度以降に専門家による現地調査を実施し、適切な補強工事内容を検討し、平成28年度に実施する予定。

状況を示す写真や資料等



善光寺本堂 外観



善光寺本堂 天井・天蓋



善光寺本堂 小屋裏吊天井



善光寺本堂 小屋組

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～平成28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

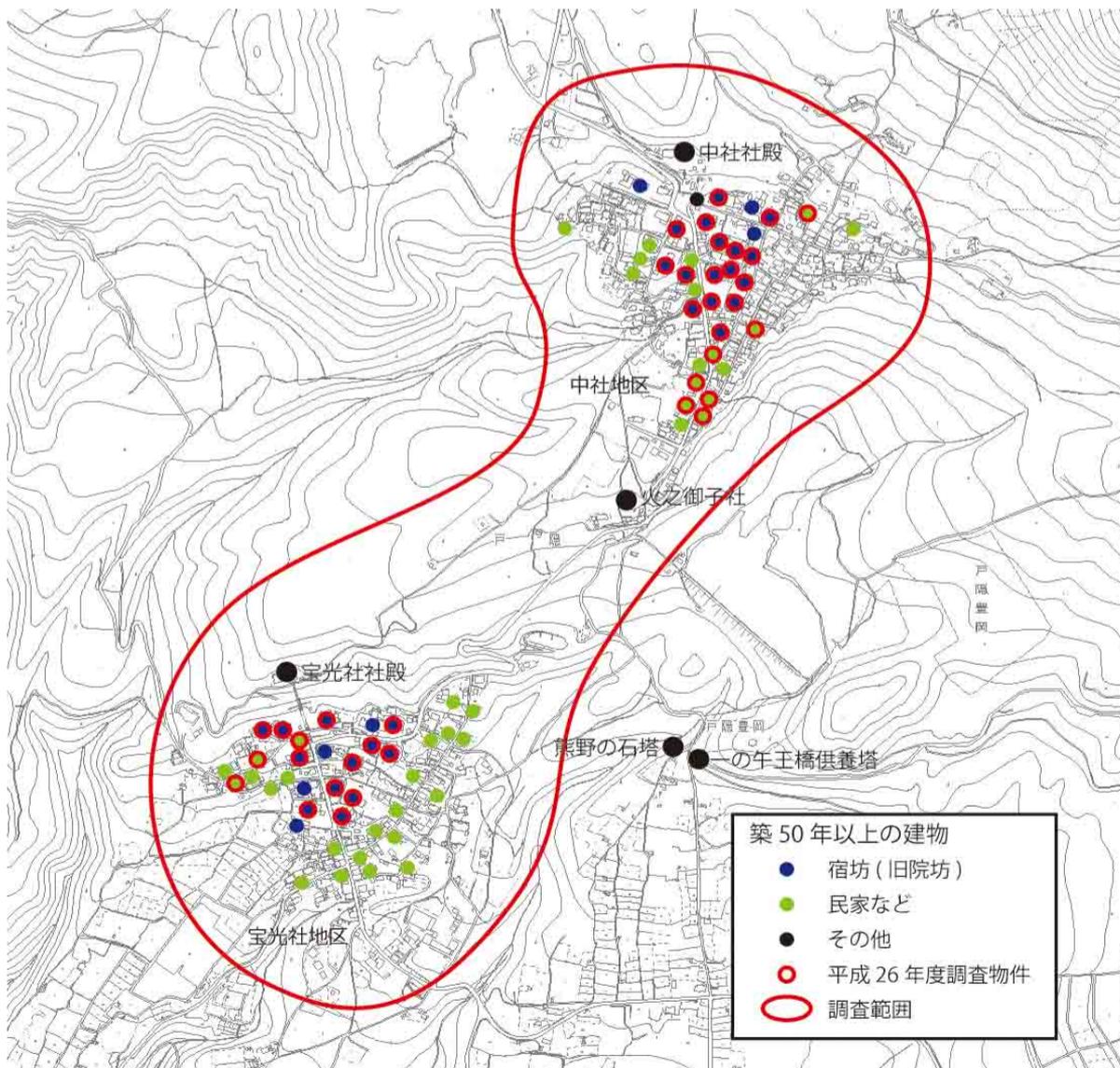
計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区の伝統的建造物群保存地区の指定に向けて、地域の伝統的な宿坊建築を中心に保存対策調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成26年度
築50年以上を経過した建造物のうち、38件について調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査範囲図

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
戸隠茅場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に維持保全していくため、中社地区内にある戸隠スキー場中社ゲレンデを茅場として整備する。なお、このゲレンデの一面には、すでに茅材に適した大茅が自生していることから、毎年、定期的に茅刈を行うことにより、良質な茅場として整備できることが十分に見込める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成26年度
11月5日、6日の二日間、戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会により茅刈りを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	安定した人手の確保及び茅刈り技術の継承、また、茅の保管場所及び循環体制の検討が必要である。

状況を示す写真や資料等



茅刈りの様子

戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り
H26.11.5:参加者28名
H26.11.6:参加者15名



茅刈りの様子



茅刈りの様子

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物修理助成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 戸隠の歴史的風致を形成する重要な歴史的建造物のうち、主要な通りに面し、かつ、現在も茅葺屋根を維持し続けている建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理を行う場合に経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・宿坊神原主屋、武井旅館主屋、横倉旅館主屋及び門について、平成26年3月27日に歴史的風致形成建造物に指定し、所有者と市の間で一般公開に関する協定を締結した。

○平成26年度

武井旅館(宝光社)及び横倉旅館(中社)の茅葺屋根の一部修理を行い、その経費の一部について助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

武井旅館(宝光社)



修理前

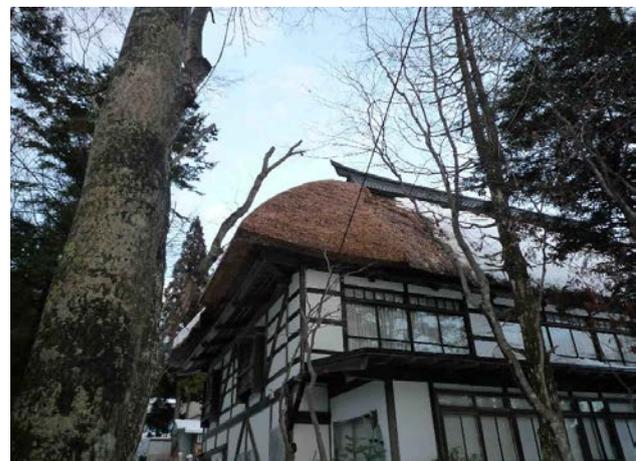


修理後

横倉旅館(中社)



修理前



修理後

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
松代地域道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成16年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧松代藩の城下町である松代の中心市街地は、松代城跡、新御殿跡、旧文武学校、旧樋口家住宅など、数多くの文化財が集積するとともに、善光寺御開帳における回向柱の奉納や天王祭における神輿巡行の舞台でもある。本事業では、城下町にふさわしい歴史的景観とするために、周辺の歴史的建造物に調和した歩車道の美装化を行う。

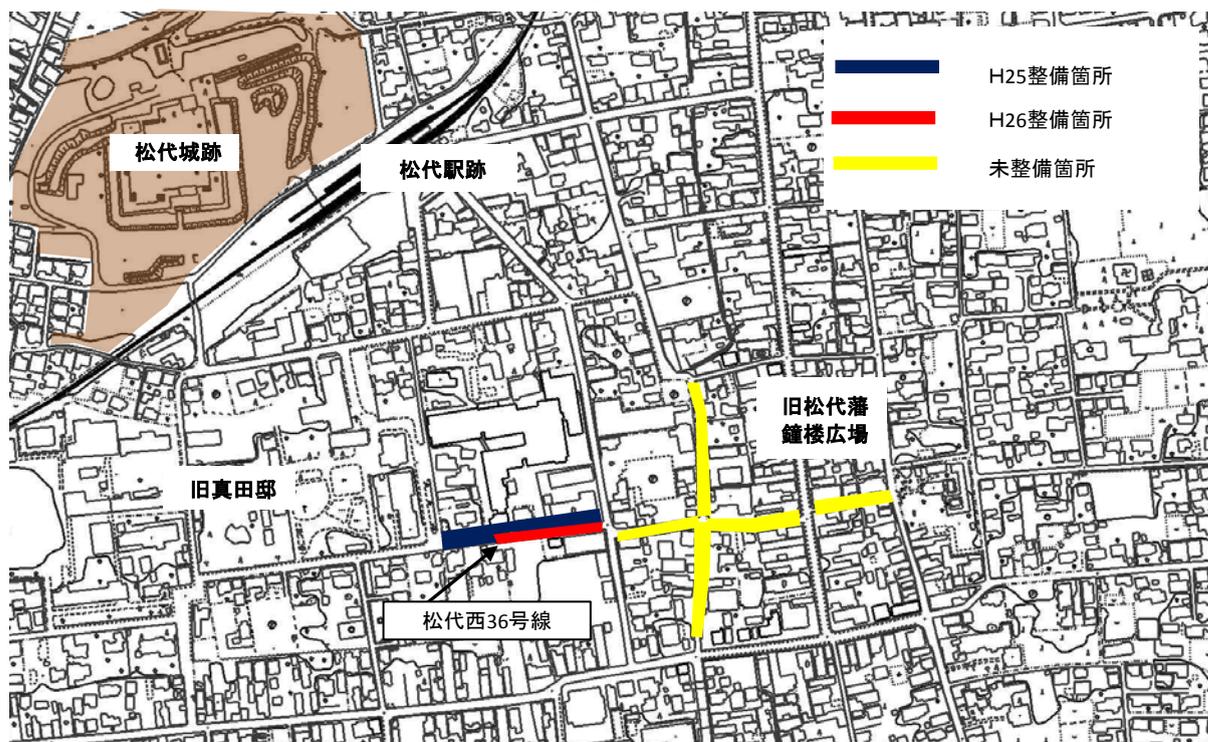
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代城下町エリアの道路美装化工事を実施し、良好な景観形成が図られた。
 ○平成25年度
 松代西36号線歩道部(L=137m)、車道部(L=55m)の道路美装化工事(石畳風舗装)を実施した。
 ○平成26年度
 松代西36号線車道部(L=99.6m)の道路美装化工事(石畳風舗装)を実施した。
 ※道路美装化工事総延長(計画期間累計) 実施済み291.6m/計画延長742.6m(進捗率39.3%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等
道路美装化位置図

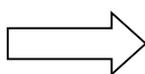


松代西36号線の状況

整備前



整備後



評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度
	平成25年度 現在の状況
旧松代藩鐘楼広場整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 周囲の歴史的まちなみよりもひととき高く聳え、松代城下町の象徴となっている旧松代藩鐘楼(享和元年(1801))について、鐘楼本体の保存修理工事が完了したため、引き続き鐘楼周囲の広場について整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代藩鐘楼広場(A=757㎡)の整備を実施し、観光客増加が図られた。

○平成25年度

敷地造成、ブロック塀撤去、板塀設置、植栽剪定、トイレ棟設置(A=6.75㎡)

※平成25年度で事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

整備前



旧松代藩鐘楼広場の状況

整備後



旧松代藩鐘楼広場公開記念式典(H26.4.11)



評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
小鮎川改修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
江戸時代後期には、城下を縦断する主要な河川の一つであった小鮎川は、以前、松代特有の水路である泉水路についても、ここから取水が行われており、今も往時の面影を残した川筋が松代の歴史的まちなみの中を流れている。旧松代藩鐘楼前の区間について、こうした小鮎川の歴史を後世に伝えるため、周囲の歴史的建造物に調和した水路として改修する。

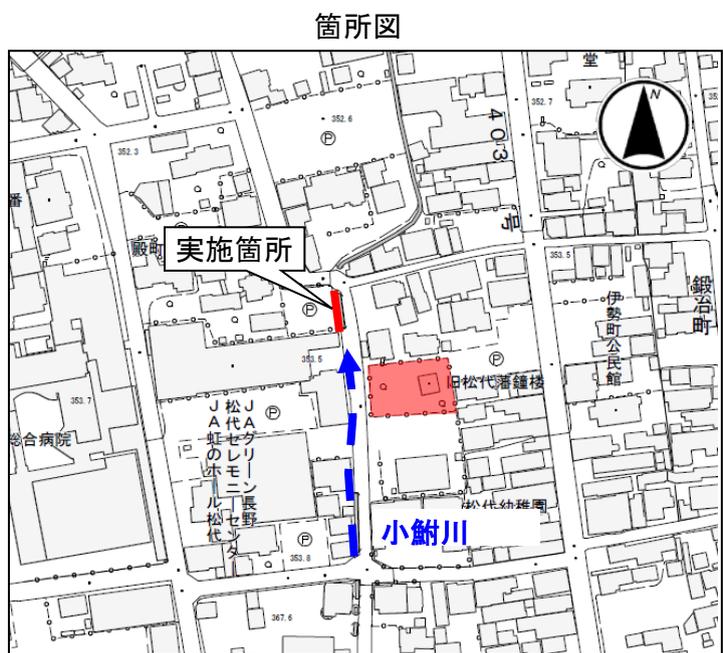
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・旧松代藩鐘楼広場の隣りに位置する老朽化したコンクリート水路を伝統的な町並みにあった修景水路に改修した。(実施延長L=17m)
 - ・観光客等に水辺の潤いを与える環境の保全や景観の形成が図られた。
- ※平成25年度で事業完了

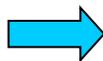
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



水路修景整備の状況



評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
寺町商家(旧金箱家住宅)保存整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 以前空き家であった明治時代の商家である寺町商家について、歴史的建造物の保存整備を行ない、積極的に利活用を促進することにより、城下町南東部の新たな地域交流の拠点を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・貴重な歴史的建造物である寺町商家について、積極的な利活用を踏まえた保存整備を実施し、城下町南東部における新たな地域交流拠点の創出が図られた。
 ○平成25年度(第1期整備工事)
 主屋及び北之蔵の保存整備を実施、整備後の利活用を図るための設備(電気・機械等)整備も行った。
 ○平成26年度(第2期整備工事)
 表門、離れ、質蔵、学問所、庭園の保存整備を実施、整備後の利活用を図るための設備(電気・機械等)整備も行った。
 ・市民の関心を高めるため「工事見学会」を開催した。(H25.11.23 参加者82名 H26.11.3 参加者100名)
 ・整備後の利活用に関して地元団体等と意見交換を行った。(H26 ワークショップ8回)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



寺町商家外観(西側道路から)



H25・寺町商家主屋内



H26・表門屋根



工事見学会(H25.11.23:参加者82名)



ワークショップ(H26.5.23:参加者20名)

寺町商家配置図



評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
伝統環境保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和59年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に受け継ぐため、伝統環境保存区域内で行われる建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・江戸時代の武家屋敷としての景観形成に寄与している建造物の修理費用に対して助成した。
 ○平成25年度
 個人宅の門の修理 1件
 ○平成26年度
 国登録有形文化財の屋根の修理 1件
 ・修理にあたっては長野市伝統環境保存審議会の助言・指導を受け、実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成25年度・修理前



修理後



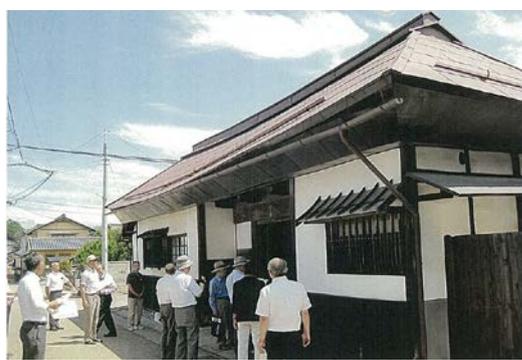
平成26年度・修理前



修理後



長野市伝統環境保存審議会(H26.7.8)の審議と現地確認



評価軸③-21
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
旧文武学校保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で保存修理工事を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成25年度
 文学所の保存修理工事を(平成26年度まで)実施し、槍術所の耐震診断を実施した。
 また、文武学校内の各建物の耐震診断や工事全体の見直しを進めるために、耐震補強計画作成委託業務を行なった。「史跡文武学校整備委員会」を開催し、整備調査状況、今後の整備方針等について審議した。(H25.11.22)

○平成26年度
 文学所の修理工事が完了、槍術所の保存修理工事の実施設計を実施する予定である。
 ・市民の関心を高めるため「工事見学会」を開催した。(H25.11.23 参加者94名 H26.11.3 参加者109名)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成23年度の東日本大震災の影響を受けて、文化庁より建物の耐震補強の指針が出されたことから、各建物の耐震補強を進めながらの保存修理工事となった。耐震補強案の検討には時間がかかるため、事業期間の終期を平成28年度から平成31年度に延長する。

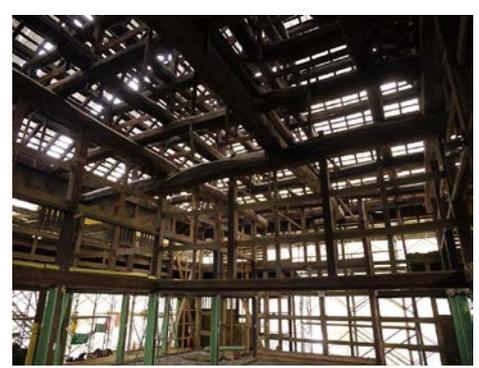
状況を示す写真や資料等



文武学校 配置図



文学所 工事外観



文学所 解体状況



文学所 修理工事状況



文学所 工事見学会 (H25.11.23:参加者94名)



文学所 工事見学会 (H26.11.3:参加者109名)

**評価軸③-22
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
松代町文化財保存活用推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

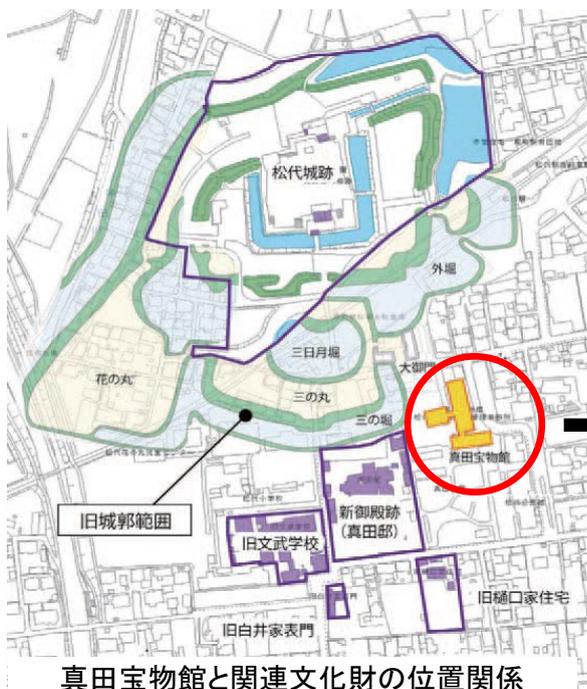
計画に記載している内容
 長野市内の中で文化財施設が特に多く集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを促進するため、文化財ボランティアの活動や市民ワークショップの開催等を推進する。また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館が、近年、施設の老朽化に加え、展示施設の調湿機能の不備、収蔵庫不足等の諸問題が生じているため、真田宝物館の設置場所も含めた、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成25年度
 真田宝物館及び関連施設のまちづくりにおける役割と今後の整備のあり方について検討するため、現状・課題の整理、事例調査・研究、ヒアリング調査・ワークショップ等の開催、設置場所を含む構想案の検討などを行った。
 ○平成26年度
 真田宝物館では来年度耐震診断を実施する検討が進められた。平成28年の大河ドラマ『真田丸』に向けて、松代地区の文化財活用について、地元、有識者、ボランティア団体などとヒアリングを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	真田宝物館の整備は松代地区が作成している「松代地区振興計画」での位置づけや史跡松代城跡の復原整備事業とも深く関連するため、これらの事業との整合性を図りながら、方向性を検討していく。

状況を示す写真や資料等



真田宝物館と関連文化財の位置関係



現在の真田宝物館
 施設の老朽化、展示施設機能の不備、収蔵庫不足等の課題を抱えている。

評価軸③-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
史跡松代城跡保存整備調査研究事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡松代城跡について、松代地区の中核拠点として利活用を図るため、旧城郭域の公有地化・復原整備を進めるための調査研究を実施する。

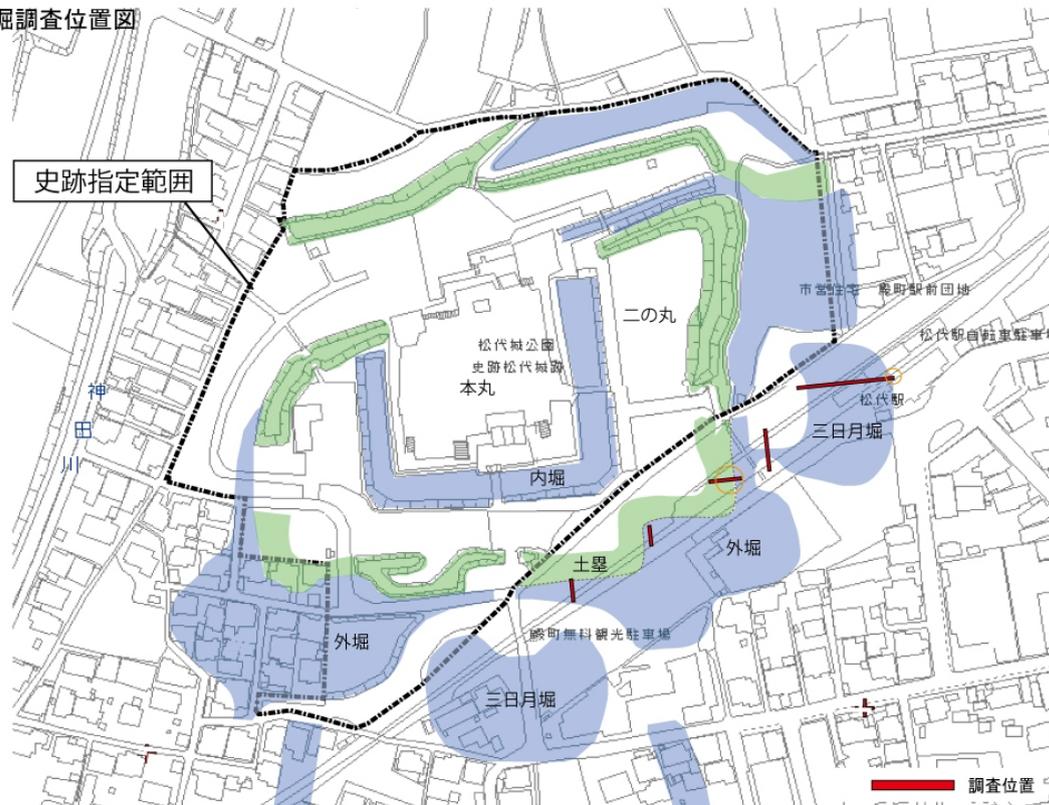
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡に隣接する長野電鉄屋代線跡地について、長野市への用地移譲に伴い、遺構確認調査を実施し、外堀や三日月堀などの城郭遺構を確認した。
※平成25年度で事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡の追加指定・整備には、既存市道の付替えを要するため、庁内関係各課及び地元住民との協議を進める。

状況を示す写真や資料等

◎発掘調査位置図



三日月堀東岸石積検出状況



外堀堆積土層確認状況

評価軸③-24 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
旧松代駅舎保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成28年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○平成25年度 旧駅舎の具体的な活用の在り方については、松代地区が作成している「松代地区振興計画」との関わりが大きいので、地区と協議を始めた。 実施予定であった耐震診断については、活用方法によっては間取りの変更や補強箇所の変更が想定されることから実施を見送った。</p> <p>○平成26年度 松代城跡整備に係る庁内検討を実施した。(7/17、8/18、10/9) 駅舎活用に関する地区との協議を実施した。(10/31)</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		旧松代駅舎の保存を含む具体的な活用方針が未決定であり、耐震診断も実施できなかったことから事業期間を見直した。(平成25年度計画変更済)。駅舎は、史跡松代城跡に隣接しているため、今後の松代城跡の復元整備計画や観光振興策など、松代のまちづくりとの整合を図りながら、全体の中で活用を検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
現在の旧松代駅舎			
			

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
松代城跡東側駐車場整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成28年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成25年度
観光用駐車場として旧長野電鉄屋代線松代駅北側部分を砕石舗装で暫定的に整備した。
- 平成26年度
イベント会場や駐車場として利用した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

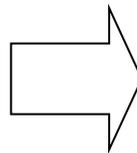
将来的な整備については、史跡松代城跡に隣接し、今後の松代城跡の復元整備計画との整合を図りながら、アクセス駐車場の整備範囲、整備時期について検討を行う。

状況を示す写真や資料等

整備前(平成25年度)



整備後(平成25年度)



平成26年度の利用状況



第59回 真田十萬石まつり・駐車場



第6回 松代音楽堂開催・イベント会場(H26.9.7)

評価軸③-26
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷を活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成25年度
旧線路敷について、レールや鉄塔等の不必要な鉄道施設の撤去後、長野電鉄株から譲渡を受けた。自転車道・遊歩道の全予定区間について概略設計を、また、区間内の橋梁及び隧道について点検・調査を実施した。
○平成26年度
平成25年度に引き続き、区間内の橋梁及び隧道について点検・調査を実施した。境界立会いL=約3.2km、自転車道・遊歩道整備詳細設計L=約2.58km、管理方法等に係る地元協議、公安協議等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元要望事項について、協議・検討を行いながら、事業を進めていく必要がある。

旧長野電鉄屋代線跡地

<レール等の撤去後>



<境界立会いの状況>



評価軸③-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況
史跡大室古墳群保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
平成10年(1998)から平成25年(2013)にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元ゾーン(面積:約42,000㎡、古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承するとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、また、園路や説明板等の便益設備を整えて見学者の利便性を高めるなど、学校教育や生涯学習の場として利活用できるよう整備を行う。

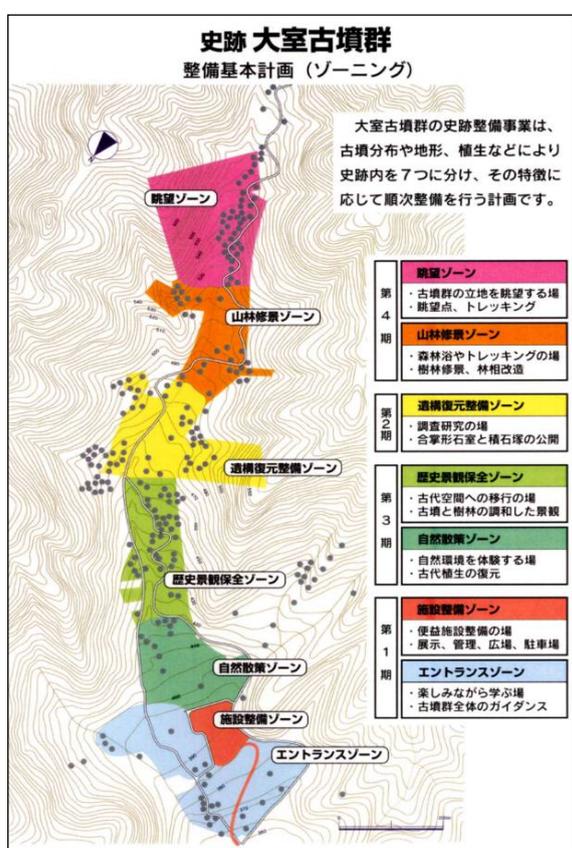
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度に策定した遺構復元整備ゾーンの基本設計に基づき、平成26年度は今後の古墳保存修理の基礎情報を取得することを目的に、古墳5基(154・167・172・173・176号墳)の遺構確認調査(発掘)及び古墳7基(154・167・172・173・186・168・176号墳)の墳丘測量を実施した。

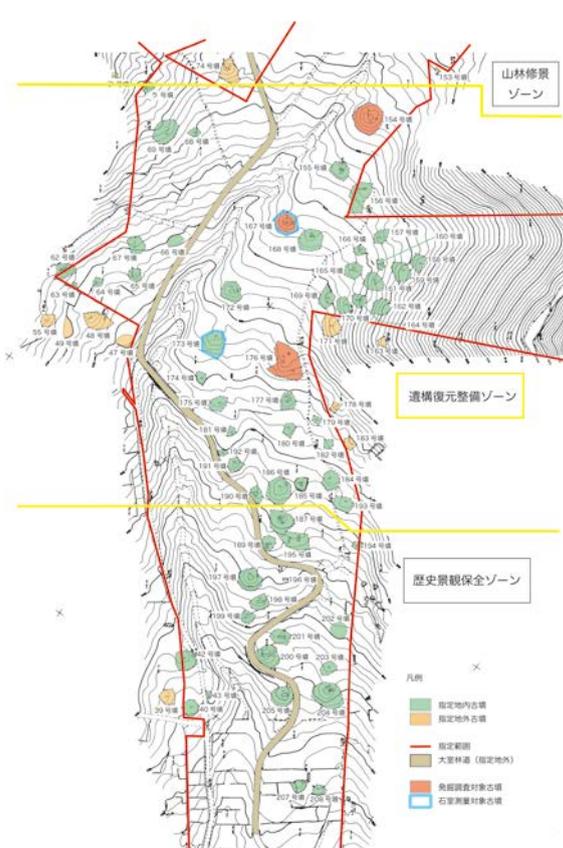
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



史跡大室古墳群 整備ゾーニング図



遺構復元整備ゾーン 整備計画概略図



遺構復元整備ゾーン 168号墳(積石塚)



遺構復元整備ゾーン 186号墳(横穴式石室墳)

評価軸③-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
史跡大室古墳群アクセス道路整備調査検討事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成26年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 大室古墳群の保存活動は、史跡指定及び史跡整備事業の着手により、整備されたエントランスゾーンやガイダンス施設「大室古墳館」を拠点に、多くの市民に古墳群を周知し、史跡の利活用を通じて古墳群全体の保存を図っていくという新たな局面を迎えている。
 こうした新たな保存活動を展開していくためには、細く不案内で、落石等の危険のある現在の道路を誰もが通行しやすく、迷うことなく史跡へ行き着くことができる経路に整備していく必要があり、このための現況調査を実施する。

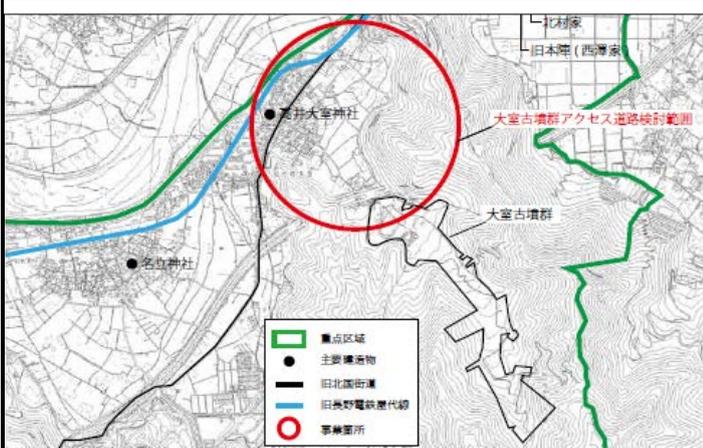
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成25年度
 庁内において基本ルート案策定に向けた方向性の確認と、社会資本整備総合交付金等の支援事業について協議検討を始めた。
 ○平成26年度
 地元との協議を進め、基本ルート案についての基本合意を確認し、概算事業費の算出等を目的とした概略設計を実施した。
 ※平成26年度で事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
 今後、庁内関係課及び関係機関と検討調整を進め、整備事業化を目指す。

状況を示す写真や資料等



大室古墳群アクセス道路 検討範囲広域図



大室古墳群アクセス道路 現況



大室古墳群アクセス道路 基本ルート概略図

評価軸③-29
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
旧信濃川田駅保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
川田宿には、地域の歴史や文化を伝えるための施設が不足しているとともに、大通りから離れたところに歴史的まちなみが形成されているため、歴史的まちなみへの案内が不足している。本事業は、川田における歴史的建造物の一つである大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線信濃川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成25年度
駅舎の耐震診断実施、利用者・来訪者の利便性向上のためトイレ(身体障害者用を含む)を整備
駅舎の具体的な活用について、地元の若穂地区と協議を行った。(9/24、10/23、3/20)
- 平成26年度
駅舎活用に関する地区協議を実施した。(6/19、10/6)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 地区の自主的な取組をどう支援できるか地元地区と協議を行い、駅舎の具体的な活用方法について配置計画(青写真)を作成していく。

状況を示す写真や資料等

現在の旧信濃川田駅舎



整備されたトイレ(平成25年度)



評価軸③-30
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------	---

事業期間	平成22年度～平成26年度
------	---------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
-------	-------------------------

計画に記載している内容	松代地区の歴史的建造物や庭園・泉水路等を活用し、地域固有のまちなみ形成とまちづくりを行うため、松代地区に残る歴史的建造物や庭園・泉水路の現況について詳細調査を実施し、価値の高い建造物等について文化財の登録制度を積極的に活用した保全及び活用を進める。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区に残る伝統的建造物や庭園等の悉皆(しっかい)調査により、伝統的環境の分布状況が把握された。特に重要な物件については、所有者の同意のもと、国登録文化財候補物件としての詳細調査を実施した。
 ・平成25・26年度で国登録有形文化財(建造物) 5箇所14件、国登録記念物(名勝地)3箇所が新たに登録された。
 ・調査報告会やシンポジウムの開催、調査報告書の刊行。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	個別物件の調査が進む一方、町全体での保全対策が遅れている。特に庭園の保全には安定した水量確保と維持管理が必要であり、地元住民と共に対策を講じる必要がある。

状況を示す写真や資料等



歴史的建造物調査状況



庭園調査状況



新規登録有形文化財(長明寺三門)



庭園調査報告会

評価軸③-31
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
松代歴史文化の発信・誘客事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	松代の歴史文化を発信し誘客に繋げようとして「NPO 法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、広報・出版・情報発信事業、まち歩きセンター運営事業に対して助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・松代地区全体を歴史的遺産と見立て、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っている「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動補助を行った。 ・散策ツールの製作、まち歩きガイドの養成、まち歩きセンター運営、まちづくりシンポジウムの開催等のまち歩き観光の推進とPRIに寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)活用の事業期間が終了するが、平成27年度は市単独事業として継続する。	
状況を示す写真や資料等			

まち歩きセンター外観



まち歩きガイドブック作成
(平成25年度)



散策会の開催(平成25年度・26年度)

城下町松代武家屋敷 秋のお庭拝見

— 江戸時代から受け継がれた武家屋敷の庭園 —

松代の武家屋敷は、周辺の山並みを取り込んだ借景、池から池へ流れる泉水路などの特徴を持ち、江戸時代から現在へとそこに住む人々によって守り、受け継がれてきました。お庭拝見は、個人の邸宅をご厚意で開放していただいたの見学です。お庭の紅葉とともに周囲の山々の色づきに秋を感じながら歩いてみませんか！

平成25年11月9日(土) 午前9:30～12:00
 受付 午前9時～午前9時30分 松代城入口
 参加費 1,000円(資料(本)代・保険料)
 持ち物 帽子、履きなれた靴、飲み物、(雨具)

◆3キロコース
 ◆5キロコースから
 お選びください。

主催 NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会
 長野市松代町松代577 (旧ゼンインレザン)
 TEL 026-278-1277
 信州松代お庭を愛する会
 共催 松代観光推進機構

城下町松代の文化財の建物をめぐる

江戸、明治、大正、昭和にかけての歴史的建造物が豊富に残る町、松代。
 1級建築士の長尾晃氏に説明してもらいながら、国の登録有形文化財を中心に松代の町並みを見て歩きます。松代の魅力を再発見してみませんか？

日時 11月16日(土)
 午前9時半～12時
 集合 松代城入り口
 講師 長尾 晃氏(1級建築士)
 参加費 500円(資料、保険料)
 申し込み 不要(直接お越しください)
 持ち物 飲み物 帽子 履きなれた靴(雨具)

★散策コース
 小山田家→矢沢家の門→鐘樓一机全家等(外から)→西念寺(境内のみ)→梅翁院→長国寺→松下家→祝神社→赤澤家の門→旧樋口邸→旧真田邸(外から)→松代城

主催 NPO法人 夢空間 松代のまちと心を育てる会
 長野市松代町松代(伊勢町)577
 TEL 026-278-1277
 共催 松代観光推進機構

視察研修の受入



評価軸③-32
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
県宝大英寺本堂保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 県補助金、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松代の歴史的風致を形成する県宝大英寺本堂および表門について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・県宝大英寺本堂および表門について、平成26年3月27日に歴史的風致形成建造物に指定し、所有者と市の間で一般公開に関する協定を締結した。
 ・保存修理期間を平成26年度から平成30年度までとし、平成26年度は、所有者が行った実施設計、半解体工事及び基礎工事に要した経費の一部を助成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



大英寺本堂



大英寺本堂内部 解体途中

評価軸③-33
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
川田宿PR活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 川田宿の歴史的町並みや伝統文化を川田宿を訪れる観光客に対して広くPRするため、川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施や町歩きガイドマップの作成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域に指定されたことを受けて「川田宿ガイドの会」が設立された。地元住民を中心とした約15名の会であるが、街道宿場としての歴史を活かしたまちづくりに取り組む機運が高まった。
 ・ガイドマップを作成・配布(市内各公民館と地元の町川田区に全戸配布)と公民館の研修視察先PRを実施した。
 ・案内ガイドの実施 12回・見学者325人に対応した。
 ・マップスタンドを3カ所(旧信濃川田駅・高札場前・口留番所跡横)に整備した。
 ・月例学習会(月第2火曜日)と現地研修(4/14,9/14)を行なった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

案内ガイド① 川田小学校3年生
(H26.6.30:参加者28名)



案内ガイド② 小田切公民館
(H26.11.17:参加者28名)



ガイドマップ



マップスタンドの設置 (高札場前)



月例学習会 (H26.8.5)



現場研修 (H26.4.14)



評価軸③-34
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度 現在の状況
「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・例年どおり、5月3日の鬼無里神社祭礼において屋台巡行が行われた。
 ○平成25年度
 10月9日に鬼無里地区歴史的風致維持向上計画協議会と鬼無里ふるさと資料館の屋台見学
 11月30日には専門業者による現状診断も行なわれた。
 ○平成26年度
 5月3日の鬼無里神社祭礼の屋台巡行の際に直接専門業者に確認してもらい、特に大きな修理などは必要がないことを確認した。(評価軸③-2の①参照)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

鬼無里神社祭礼における屋台巡行の様子(H25.5.3)



屋台の現状診断の様子(H25.11.30)



評価軸③-35
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
	項目	現在の状況

鬼無里地域の伝統的祭礼等PR 事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	---

事業期間	平成25年度～平成34年度
------	---------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	白髭神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を行う。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成25年度
 地区主導で地域の伝統的祭礼や文化財を活用した体験参加型ツアーが企画・実施され、地域外からの大勢の参加者もあり、盛況だった。
 5月3日・・・鬼無里神社(乾燥野菜作り体験と鬼無里神社春祭りを学ぶ)
 6月22日・・・鬼無里ふるさと資料館(北村喜代松制作屋台)・白髭神社(住民発信! 鬼無里めぐり2013春)
 7月1～10日・・・白髭神社(白髭神社本殿特別拝観と花しょうぶ・ホタル・古民家をめぐる旅)

○平成26年度
 上記イベントを継続して実施された。
 鬼無里、諏訪、白髭神社の祭礼に関わる保存映像記録と鬼無里地区の歴史風致と各地区神社のお祭りについてまとめたガイドマップを作成した。各神社、鬼無里まちの駅、資料館などの拠点施設や地区HP等でのPR・情報発信に活用した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



長野市民新聞 H25.5.8 記事



長野市民新聞 H25.6.25 記事

評価軸③-36
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
松巖寺観音堂保存修理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成26年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 寛永2年(1625)または寛永3年(1626)の建立とされる松巖寺観音堂(市指定有形文化財)は、建築後400年を経過しており、建築物の主要構造部である基礎や屋根が、老朽化によって損傷が著しい状況にあった。また、現在の外観は、後世の改修や補強(筋交い)によって、創建当初とは異なった姿をなしていた。本修理事業では、市指定有形文化財である観音堂を後世へ保存、継承していくため、損傷した部材の交換等を行うとともに、創建当初の姿への復原を視野に入れた保存修理工事を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○平成25年度
 建物基礎工事(礎石据え直し等)、木工事(柱の根継ぎ等)、居直し(傾斜、沈下している柱を垂直、水平に直す等)、外構工事を実施した。
 ○平成26年度
 屋根工事(銅板葺き)、左官工事(外壁:壁板取り替え、内壁:土を補い漆喰塗装)、建具工事、彫刻補修を行い、保存修理工事が完了した。
 ※平成26年度で事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

工事状況写真

修理中(平成25年11月状況)



修理中(平成26年7月状況)



修理後(平成26年11月状況)



評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・松代地区の歴史的建造物について調査を行い、5箇所14件の建造物が登録有形文化財に登録された。
- ・松代地区の庭園群について調査を行い、3箇所の庭園が登録記念物(名勝地)として登録された。また庭園所有者との意見交換会や城下町の庭園群をテーマとしたシンポジウムを行っている。
- ・戸隠地区の宿坊については、未指定の建物・庭園等の調査を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

市内に数多く残る歴史的価値を有する建造物等の文化財について、適切な保全を推進するため、今後も新規の指定・登録等を積極的に進める。

状況を示す写真や資料等

長野市民新聞 20
H25.11.16 記事



庭園所有者との意見交換会(H25.5.31)



庭園調査状況

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。長野市の歴史的風致を形成する歴史的風致形成建造物に指定するものについては、保存・活用のための修理に必要な支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・指定文化財の建造物・記念物等について計画的に保存修理を実施することにより、適切な保存活用を図ることができた。
指定文化財の保存修理事業 4件
(国指定:旧文武学校保存整備、大室古墳群保存整備)
(市指定:寺町商家保存整備、松巖寺観音堂保存修理)
- 指定文化財の耐震診断事業 1件
(国指定:善光寺経蔵耐震診断)
- ・歴史的風致の形成に寄与する建造物5件を「歴史的風致形成建造物」に指定した。
「大英寺本堂」……松代地区、「松巖寺観音堂」……鬼無里地区
「宿坊神原」・「武井旅館」・「横倉旅館」……戸隠地区

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

旧文武学校保存整備委員会での審議(H25.11.22)



史跡大室古墳群保存整備委員会での審議(H25.6.26)



長野市歴史的風致維持向上協議会による「歴史的風致形成建造物指定候補」の現地視察(H26.2.18)



大英寺本堂(松代)



松巖寺観音堂(鬼無里)



横倉旅館・門(戸隠)

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する取り組みについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 定期的に文化財防火パトロールを実施し、所有者・管理者と消防局による防火点検や、地元消防団の放水訓練などを行い、日常的に防災意識の高揚と火災被害の軽減を図る。さらに、防犯対策として、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の耐震診断と耐震補強工事や、消火設備、避雷針設備等の防災設備設置工事等の推進を図るとともに、日常的な維持管理や所有者への注意喚起等により、美術品等の防犯対策を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・文化財パトロールの実施
 国・県指定文化財：年2回(パトロール員3名)
 市指定文化財：年1回(パトロール員32名)
 ・善光寺・松代城跡などの文化財施設において「文化財防火デー」(1月26日)を中心とした防火放水、避難訓練が実施された。併せて文化財愛護に関する普及啓発も実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

文化財パトロールの様子



(県宝大英寺本堂)



(県指定天然記念物深谷沢の蜂の巣状風化岩)

文化財防火デー 訓練の様子



松代城跡(H26.1.24)



善光寺(H27.1.26)

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成25～26年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の整備について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美装化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。 <善光寺戸隠地区> ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美装化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。 <松代・若穂川田地区> ・電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。 <鬼無里地区> ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・善光寺周辺地区の電線類地中化と道路美装化(評価軸③-3、③-4参照)及び松代地区の道路美装化(評価軸③-16)を実施し、文化財及びその周辺の歴史的景観との調和が図られた。 ・鬼無里地区内の文化財や古民家等を巡るツアー(評価軸③-35参照)を開催し、歴史的景観に関する住民意識の向上が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸④-5
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

文化財に関する普及、啓発について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

計画に記載している内容
文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・松代地区では、旧松代藩鐘樓の特別公開や指定文化財の保存修理工事見学会を開催し、地域に残る歴史的財産の魅力や継承の意義を伝えた。(11/3寺町商家・旧文武学校工事見学会)
 ・また、NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会などの各種団体主催によるまち歩き・見学会、勉強会などが開催された。(評価軸③-31参照)
 ・鬼無里地区では、鬼無里神社祭礼時に行われる屋台巡行に合わせて、(公財)観光コンベンションビューロー主催により屋台曳き手と郷土料理を体験するツアーや国重文の白髭神社本殿特別拝観などのイベントが行われ、文化財の情報発信に寄与した。(評価軸③-35参照)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



松代庭園調査報告会



寺町商家・旧文武学校工事見学会
(H25.11.23:参加者94名)



旧松代藩鐘樓特別公開
(H26.4/12,13,19,20:参加者約1,000名)



城下町松代武家屋敷 秋のお庭拝見
(H26.11.15:参加者約40名)



鬼無里神社祭礼屋台巡行・郷土料理体験ツアー
(H25.5.3:参加者約20名)



評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		評価対象年度	平成25年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
歴史的まちづくり 長野市の計画認定 国交省など県内4件目	平成25年4月12日	信濃毎日新聞	
長野市の景観づくり・長野市歴史的風致維持向上計画を策定	平成25年5月1日	広報ながの5月号 特集掲載	
旧川田宿ガイド養成へ	平成25年4月6日	長野市民新聞	
にぎやか春祭り 屋台引き練り歩く・鬼無里神社 体験講座も参加	平成25年5月8日	長野市民新聞	
「松代 庭園軸に街づくりを」 武家屋敷などの調査報告会	平成25年5月19日	信濃毎日新聞	
国の有識者会議委員ら 松代で町づくり視察	平成25年6月22日	長野市民新聞	
鬼無里めぐり盛況	平成25年6月25日	長野市民新聞	
ふれ愛ながの 松代 ～歴史文化とまちづくり～	平成25年6月29日	長野放送(TV)	
鬼無里松巖寺 観音堂の修復本格化	平成25年7月6日	長野市民新聞	
華やか屋台巡行 ながの祇園祭	平成25年7月15日	長野市民新聞	
松代城の三日月堀確認	平成25年7月19日	信濃毎日新聞	
門の修繕箇所を視察 市伝統環境保存審 条例に基づき助言	平成25年8月1日	長野市民新聞	
善光寺・大本願の新指定国重文 阿弥陀来迎図を公開	平成25年8月3日	長野市民新聞	
松代藩「時の鐘」復活 改修終え7年ぶりに	平成25年10月5日	長野市民新聞	
鬼無里の歴史的な文化遺産 市へ課題や要望提出	平成25年11月7日	長野市民新聞	
旧武家屋敷庭園 徒歩で巡り見学	平成25年11月9日	長野市民新聞	
戸隠古道 花探し歩く 飯綱高原で催し	平成25年11月9日	長野市民新聞	
オオガヤ刈り取り 戸隠スキー場で	平成25年11月9日	長野市民新聞	
松代の4ヵ所10件 国の登録文化財へ 文化審議会が答申	平成25年11月16日	長野市民新聞	
大室古墳群で見学会 整備した円墳など解説	平成25年11月16日	長野市民新聞	
和くぎに驚き 補修の現場 松代・文武学校で見学会	平成25年11月26日	信濃毎日新聞	
善光寺周辺の逸話や名所を紹介(善光寺参り絵解図制作プロジェクト)	平成25年11月28日	長野市民新聞	
15年御開帳 700万人目標に「善光寺御開帳奉賛会」スタート	平成25年11月30日	信濃毎日新聞	
川田宿の史跡マップ 「ガイドの会」が近く刊行へ	平成25年12月12日	長野市民新聞	
NAGANO検定 研修会実施	平成25年12月26日	長野市民新聞	
市の「歴史的風致形成建造物」 戸隠など5件指定へ	平成26年1月7日	長野市民新聞	
「NAGANO検定」659人挑戦	平成26年2月3日	信濃毎日新聞	
歴史的まちづくり 新事業案 長野市地方文化財保護審議会	平成26年2月5日	信濃毎日新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>計画認定を受け、新聞報道・市広報への掲載により市民への周知が図られ、地域の歴史や文化財に対する関心が高まった。</p> <p>重点区域で本計画の歴史的風致に関わるイベントや文化財の保存・活用について数多く取り上げられ、報道された。</p> <p>NAGANO検定の実施、戸隠の「茅場」整備、川田宿ガイド活動、鬼無里における文化財を活用した体験参加型ツアーの実施など地域主導の活動が見られた。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			



長野市の景観づくり

長野市歴史的風致維持向上計画を策定

本市は、百瀬や鬼無里などの豊かな自然に恵まれた景観が数多くあり、観光資源や住宅などの歴史文化が数多くある都市圏も併せて、このように優れた景観を生かす計画は、市民はもとより、観光客にとっても魅力的な都市を目指しています。この計画は、景観づくりを進めていきます。

計画の概要

計画は、次の3つの区域を「歴史的風致」に定め、歴史的風致を維持向上させる。次に、次に進みます。

- 歴史的風致区域(平成25年3月4日策定)
- 景観維持区域(平成25年3月4日策定)
- 景観向上区域(平成25年3月4日策定)

今後、これら3つの区域を歴史的風致を生かし、市民の皆さんが誇りを持って暮らすことができるようにしていきます。この計画に基づいて、景観づくりに取り組んでいきます。

歴史的風致とは

地域の歴史・伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史・伝統的な建築物・景観が一体となって形成されてきた良好な市街地の景観。

華やか屋台巡行

なごの祇園祭

14日中央通りをほらじめした中心市街地で開かれた「なごの祇園祭」御祭礼屋台巡行。2年連続となり、今年も、御祭礼、上千歳、西後町、新田町と、長沼地区の鶴保・池田町の屋台が登壇し、見物客で賑わった。華やかな獅子など、色とりどりの屋台が並び、祭りの様子もアップした。



権堂町の「勢(きわい)獅子」。祭れるような熱気あふれる舞を繰り広げた



北石堂町に展示された六地藏町の屋台前では、長沼地区の太鼓グループが勇壮な演奏を披露

長野市民新聞 H25.7.18 記事

広報ながの 平成25年5月号 記事

長野市民

鬼無里めぐり盛況

定員超の50人 歴史文化堪能

鬼無里地区自治協会の主催で、地元の人から、50人が参加し、歴史文化を堪能した。自治協会の主催で、地元の人から、50人が参加し、歴史文化を堪能した。

鬼無里地区自治協会の主催で、地元の人から、50人が参加し、歴史文化を堪能した。自治協会の主催で、地元の人から、50人が参加し、歴史文化を堪能した。

鬼無里地区自治協会の主催で、地元の人から、50人が参加し、歴史文化を堪能した。自治協会の主催で、地元の人から、50人が参加し、歴史文化を堪能した。

長野市民新聞 H25.6.25 記事

長野市

松代藩「時の鐘」復活

改修終了7年ぶりに 1日2回鳴らす

12、13日の10万石まつりで

松代藩の時の鐘が7年ぶりに復活する。12、13日、松代町で「松代藩10万石まつり」を兼ね、松代藩の時の鐘が復活する。12、13日、松代町で「松代藩10万石まつり」を兼ね、松代藩の時の鐘が復活する。

松代藩の時の鐘が7年ぶりに復活する。12、13日、松代町で「松代藩10万石まつり」を兼ね、松代藩の時の鐘が復活する。

長野市民新聞 H25.10.1 記事

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成26年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
「旧松代藩鐘楼広場」を開放 一帯整備終了特別公開 城跡や武家屋敷へ周遊期待	平成26年4月4日	信濃毎日新聞	
善光寺表参道 ガイド研修始まる 今秋からのガイド案内目指す	平成26年4月22日	長野市民新聞	
長野市歴史的風致維持向上計画 計画の変更と歴史的風致形成建造物の指定について	平成26年5月1日	広報ながの5月号 特集掲載	
戸隠のかやぶき屋根 貴重な建物を後世へ	平成26年5月3日	長野市民新聞・特集ページ	
「真田丸」に誘客期待 ゆかりの松代町 念願の大河歓迎	平成26年5月17日	長野市民新聞	
東町屋台修繕始まる 門前の御祭礼参加へ 24年ぶり復活目指す	平成26年5月24日	長野市民新聞	
東町に公衆トイレ 御開帳を控えて市が整備 地元の屋台倉庫 併設	平成26年7月5日	長野市民新聞	
屋台巡行門前を魅了 祇園祭	平成26年7月15日	長野市民新聞	
御開帳・回向柱用材選定 長野・松代 住民らが寄進建立会	平成26年7月19日	信濃毎日新聞	
善光寺御開帳 回向柱奉納へ 杉製材	平成26年10月10日	信濃毎日新聞	
歴史や自然を生かす 鬼無里地区 歴史的風致維持向上へ活動 伝統の祭礼DVDに	平成26年5月20日	長野市民新聞	
松代の「寺町商家」利活用へ ワンデイシェフ検討 建物内見学 参加者から意見	平成26年5月29日	長野市民新聞	
長野・松代の3庭園 名勝地に答申 池結ぶ「泉水路」に注目	平成26年6月21日	信濃毎日新聞	
国登録有形文化財 新たに2カ所を答申	平成26年7月19日	長野市民新聞	
戸隠神社式年大祭の内容確認 奉賛会の設立会議	平成26年7月26日	長野市民新聞	
史跡マップ備えるスタンド3カ所設置 若穂の川田宿ガイドの会	平成26年9月6日	長野市民新聞	
「経蔵」大規模修理工事へ 耐震対策や「輪蔵」を修復	平成26年10月23日	信濃毎日新聞	
回向柱を引き回し 松代の街中を行列 真田十万石まつり	平成26年10月13日	信濃毎日新聞	
松代の歴史的建物活用に 信大工学部生、住民に方法提案	平成26年10月17日	信濃毎日新聞	
松巖寺観音堂輝き再び 修復終え落慶法要	平成26年10月31日	信濃毎日新聞	
戸隠で3トンかや刈り 中社ゲレンデでまちづくり協 屋根材料へ	平成26年11月8日	長野市民新聞	
石畳化整備完了 新田町-大門交差点 (※中央通り歩行者優先道路化)	平成26年11月27日	長野市民新聞	
ながの市・まち歩き特集 善光寺もんぜん探検隊/信州まつしろ城下町歴史さんぽ/ガイドと歩くながのおさんぽツアー	平成26年11月29日	週刊長野	
(長野県神城断層地震)文化財関連被害25件 半数が鬼無里・松代	平成26年12月4日	長野市民新聞	
仁王門通り石畳完成 御開帳前の門前整備一段落	平成26年12月27日	長野市民新聞	
国史跡・松代城跡拡大を	平成26年12月30日	信濃毎日新聞	
回向柱に触れて 前立本尊と結縁 (善光寺御開帳 特集)	平成27年1月3日	長野市民新聞・特集ページ	
宮大工が残した工芸 歴史に埋もれた職人 (北村喜代松・武田常蔵・山崎儀作)	平成27年1月3日	長野市民新聞・特集ページ	
松代散策ガイド養成に力 善光寺御開帳控え観光客増に対応	平成27年1月21日	信濃毎日新聞	
善光寺との関わり学ぼう 松代で講座始まる	平成27年2月3日	信濃毎日新聞	
歴史的景観活用へ 地域づくりシンポ 住民組織が24日 戸隠中社で	平成27年2月7日	週刊長野	
善光寺如来絵伝 県宝へ 市内2件 審議会答申 戸隠神社太々神楽 県無形民俗文化財に	平成27年2月10日	長野市民新聞	
松代で七福神めぐり 御開帳を機に誘客の一環 22日初の催し	平成27年2月17日	信濃毎日新聞	
伝統の獅子神楽 戸隠でフェス 市と合併10周年記念	平成27年2月26日	長野市民新聞	
市の歴史的風致維持向上協 新規事業3件を了承 松代城跡保存範囲を追加など	平成27年3月10日	長野市民新聞	
戸隠神社 守りつなぐ 近づく式年大祭 太々神楽	平成27年3月14日	週刊長野	
松代の商家 集いの場に (「寺町商家」平成27年4月4日から一般公開)	平成27年3月28日	信濃毎日新聞	
回向柱 きょう奉納 松代「ミニ回向柱」で前日祭	平成27年3月29日	信濃毎日新聞	
善光寺信仰 絵解きで伝える	平成27年3月31日	信濃毎日新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
善光寺御開帳に向けて関連した事業や取組み、修理材の確保や修理技術を含む景観重要建造物・歴史的風致形成建造物の修理、文化財や歴史的建造物等の活用に向けた地域住民とのワークショップや見学会、講演会などについて幅広く報道された。 伝統祭礼の記録保存の取組みやガイド活動など、地域主体の取組みも紹介されるなど、地域の歴史や文化を活用したまちづくりに関する報道も多くされている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			

長野市歴史的風致 維持向上計画

市では、身延町・上田市の歴史的風致維持向上計画を参考に、本市の歴史的風致を維持・向上させるため、平成26年度から「歴史的風致維持向上計画」を策定し、その実施に努めます。

計画の目的は、次のとおりです。

- ・歴史的風致を維持・向上させること。
- ・歴史的風致を観光資源として活用すること。
- ・歴史的風致を地域活性化のきっかけとする。

計画の範囲は、以下のとおりです。

- ・市街地（市街地地区）
- ・市街地外（市街地外地区）
- ・市街地外（市街地外地区）
- ・市街地外（市街地外地区）

計画の期間は、平成26年度から平成30年度までです。

計画の進捗状況を定期的に公表していきます。

お問い合わせ先：まちづくり推進課 電話 224-8779 FAX 224-7297 E-mail machi@city.nagano.lg.jp

※歴史遺物を一定の範囲で一般公開します。詳しくはホームページをご覧ください(5月中旬に掲載予定)。
 まちづくり推進課 ☎224-8779 FAX224-7297 E-mail machi@city.nagano.lg.jp

広報ながの 平成26年5月号 記事

貴重な建物を後世へ

市が本年度から調査

市が本年度から調査する「歴史的風致維持向上計画」の範囲内にある歴史的建造物の調査が、本年度から本格化する。市は、市街地地区、市街地外地区、市街地外地区の3つの範囲で、歴史的建造物の調査を実施する。調査の対象となるのは、昭和25年以前に建築された、歴史的価値のある建築物である。調査の結果、歴史的建造物の数や種類、分布状況などを把握し、今後の調査や保存対策に活用する。また、歴史的建造物の調査結果を公表し、市民の理解と協力を得ることも目指している。

市は、市街地地区、市街地外地区、市街地外地区の3つの範囲で、歴史的建造物の調査を実施する。調査の対象となるのは、昭和25年以前に建築された、歴史的価値のある建築物である。調査の結果、歴史的建造物の数や種類、分布状況などを把握し、今後の調査や保存対策に活用する。また、歴史的建造物の調査結果を公表し、市民の理解と協力を得ることも目指している。

長野市民新聞 H26.5.3 特集記事

松代から寄進 来月お浄め式

開幕直前に梵字書き入れ

4月～5月末 善光寺御開帳

松代から寄進された歴史的建造物の調査結果が、長野市民新聞に掲載された。調査の結果、松代地区に多くの歴史的建造物が存在することが明らかになった。市は、これらの歴史的建造物を保護・保存するため、調査結果を公表し、市民の理解と協力を得ることも目指している。

松代地区の歴史的建造物の調査結果が、長野市民新聞に掲載された。調査の結果、松代地区に多くの歴史的建造物が存在することが明らかになった。市は、これらの歴史的建造物を保護・保存するため、調査結果を公表し、市民の理解と協力を得ることも目指している。

長野市民新聞 H26.1.3 特集記事

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成25～26年度

項目

「NAGANO検定」の実施

計画に記載している内容 無し

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○平成25年度
身近な地域への関心・愛着を高め、平成27年春の新幹線延伸や善光寺ご開帳に向けた市民「おもてなし」の向上を目的に、長野市の自然や歴史、文化、地域の魅力など幅広い知識について問う「NAGANO検定」が実施された。検定テキストには、本計画の内容説明のほか、重点地域に関わる文化財や街なみ景観などが数多く取り上げられ、関心を呼んだ。(受験者数/659人)

○平成26年度
今年度も引き続き2回目の検定とともにランクアップした「検定チャレンジ」も新設、実施された。(受験者数/399人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



長野市民新聞 25.11.23記事



長野市民新聞 26.2.4記事



長野市民新聞 26.12.16記事

評価軸⑥-2
その他

評価対象年度 平成25～26年度

項目

善光寺表参道ガイドの取り組み

計画に記載している内容

文化財の保存活用に関わっている住民、NPO等各種団体の状況及び体制の具体的な計画
・「長野市善光寺表参道ガイド協会」
平成24年(2012)に発足した団体で、善光寺及び善光寺周辺の文化財や歴史、郷土食、まちなみなどの体験型ツアーを推進することを目的とする。今後は、ボランティアガイド育成のために、ワークショップや研修ツアーなどの開催を予定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

※平成24年度

長野市、ながの観光コンベンションビューロー、長野商工会議所などの関係団体により、善光寺と門前町の紹介、まち歩きガイドツアーの提供、観光情報の発信など、観光客へのおもてなし活動を目的に設立された。

○平成25年度

平成27年春の善光寺ご開帳に向けて観光ガイドボランティアの募集・育成や観光案内ツアーのコース設定などについて検討された。

○平成26年度

「観光ボランティアガイド」の募集と研修会が行なわれ、約160人の応募受講があった。ガイド募集にあたっては、前掲の「NAGANO検定」との連携も図られた。

「ガイドと歩く! ながのおさんぽツアー」などが企画、実施された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



長野市民新聞 26.4.22記事



ガイドと歩く! ながのおさんぽツアー
(「ながの市 てくてくまち歩きガイド」パンフレットより抜粋)

評価軸⑥-3
その他

評価対象年度 平成25～26年度

項目

「ながの百景」選定事業

計画に記載している内容 無し

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・地域固有の自然や歴史、風土などが尊重され、愛着と誇りを持つことができる「大切にしたい景観」や「お気に入りの景観」などを広く一般から募集し、「ながの百景」として100件選定した。約300件の応募があり、関心や反響も高かった。
・善光寺と周辺の建造物や表参道、戸隠の宿坊が連なるまちなみ、松代城跡や真田邸の庭園、大室古墳群と市街地を囲む山々、川田宿跡、など本計画と関わりのある歴史的景観も多く取り上げられた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



平成25年度 募集チラシ



広報ながの 平成27年1月号 記事



ながの百景 マップ 作成

評価軸⑥-4
その他

評価対象年度

平成26年度

項目

東町地区屋台修繕の取り組みと屋台蔵の整備

計画に記載している内容

無し

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

善光寺門前の問屋街として栄えた東町地区で、地区の歴史について学び、その中心的存在である「町屋台」の巡行復活し、善光寺周辺の観光にも寄与するまちづくりを進めていこうとする新しい取り組みが始められた。
 ・善光寺門前の東町地区が長期間途絶えていた屋台巡行について、「ながの御祭礼屋台巡行」の参加を目指し、所有する屋台の修理を実施した。(公益財団 東日本鉄道文化財団の地方文化事業支援を受けて実施)
 ・地区に立ち上げられた「旧問屋街東町まちづくり研究会」主催の屋台制作にまつわる講演会も開催された。
 ・同地区での「地域交流センター」の整備に合わせ、同屋台を保存し、展示公開するための「屋台蔵」を整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



地元住民によるの部材状況の確認・組立て確認 H26.5.10



長野市民新聞 H26.5.24 記事



講演会の開催
長野市民新聞 H26.9.27 記事

評価対象年度	平成25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 長野市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)	
会議等の開催日時: 平成26年2月25日 14:00~16:00 会場: 長野市役所第一庁舎8階第1委員会室	
(コメントの概要)	
<p>① 中央通りの歩行者優先道路化について未整備の区間(長野駅前から昭和通り)も将来的な整備を検討してほしい。</p> <p>② 11~13ページの事業に関連し、戸隠中社・宝光社地区における重伝建地区指定の見通しは如何。</p> <p>③ 「戸隠古道」に関して歴史的裏付けや文化財的な価値を確認するためにも、しっかりとした調査をお願いしたい。最近では古道を歩く人も増えているので、昔、道のシンボルであった「一の鳥居」の将来的な復元を期待したい。</p> <p>④ 松代地区での旧長野電鉄屋代線跡地、駅舎の活用は、史跡松代城跡の保存整備や駐車場整備とも深く関係し、地域の核となる場所なので関心も高い。地元にも様々な意見があるが、市と協議連携を取りながら考えていきたい。</p> <p>⑤ 川田駅舎周辺は、駅舎並びに残置された電車車両の活用も含めた中で、鉄道博物館・川田宿資料館など有効な活用策を検討してほしい。</p> <p>⑥ 鬼無里の松巖寺をはじめ5件が「歴史的風致形成建造物」に指定して整備がされていくが、単に建物の保存整備に終わるだけでなく、地元の人や観光客が集まるような取組み、活用について検討してほしい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>① 計画に位置づけた事業は来年の善光寺ご開帳までに整備を終える予定のものである。ご意見のあった区間については将来の整備に向けて県と協議を始めたところであり、(具体的には)もう少し先の話となる。今回の整備区間を1つの区切りとしているが、未整備の区間は「継続」と考えている。</p> <p>② 文化庁担当調査官の現地調査も済みであり、新年度に「保存対策調査」を行なう予定である。地元の方のご協力もあり、平成26から27年度の保存対策調査の成果に基づいて「指定」・「選定申し出」というスケジュール感で進めている。</p> <p>③ 戸隠古道については、観光客やトレッキング利用者に案内しやすいように案内表示などの看板類の整備を現時点では考えている。古道に関する詳しい調査や鳥居の復元について、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>④ 多くの範囲は松代城城郭の範囲内であり、将来構想としては松代城跡として追加していくべき土地であると考えている。長期間に渡る事業であり、文化財としてだけでなく、観光振興・地域振興の視点も含めて地元の方々と協議しながら進めていくべきであると考えている。</p> <p>⑤ 川田駅周辺は地区との協議の中で「鉄道メモリアルパーク」としての全体を整備していくという方針がある。それを踏まえながら、駅舎活用、車両活用について更に地区と協議し、資料館や観光客の拠点としての利用も検討していきたい。</p> <p>⑥ 単なる整備ではなく活用することも本計画の1つの重要なテーマである。市指定の文化財であり、お寺や地元地区を交えた中で大勢の人が集まるようなイベントについて検討したい。</p>	

評価対象年度	平成26年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 長野市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)	
会議等の開催日時: 平成27年2月26日(木) 15:30~17:00 会場: ふれあい福祉センター4階 会議室3	
(コメントの概要)	
<p>① 鬼無里地区のK3-松巖寺観音堂保存修理事業についての修理完了と状況報告 市の文化財保護事業補助金を受けて修復事業が終了し、11月落慶法要が行なわれた。昨年、歴史的風致形成建造物の指定を受けたので今後は本堂・経蔵等含め、公開等していきたい。</p> <p>② 11月22日の「神城断層地震」の状況について 市内でも特に鬼無里地区は大きな被害を受けた。 先ほどの松巖寺は、修復が完了した観音堂は被害が無かったが、その他の本堂や経蔵では外壁の剥落、石造物も多くが倒れたという状況である。「観音堂はしっかりした修理が行われた」と認識できた。そのほかでは、国重文の白髭神社本殿では櫓の落下があったが、文化庁の現地確認の際も「元の場所に上げれば問題ない」とのことだったので地元でもその指導に添った対応をした。石造物の鳥居に亀裂、社標・常夜燈の倒壊、神楽殿建物など大きな被害があった。そのほか各地区の神社にも被害があった。 多くの被害があった中で、松巖寺経蔵は、観音堂同様、市の文化財指定を受けているので、今後、修復について検討していきたい。</p> <p>③ 大室古墳群への道路建設について、新たな道路建設のルート案、概略図が示されたが、「景観保持」の問題が出てくる。道路の新設が必要であることは理解するが、景観の保持に十分配慮しながら事業を進めていきたい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>①・② 鬼無里地区では大変な被害があり、指定文化財のいくつかは修理が必要ということでご相談を受けている。具体的には「補助金」ということになるが、なるべく地元要望に応えられるよう努力していきたい。</p> <p>③ 今年度実施の概略設計を基にルート選定や概算費用などの検討を進めていく。大室古墳関係では整備委員会が組織されているのでご指摘の点についてもご相談しながら進めていきたい。</p>	